

震災復興まちづくりのあり方に関する調査・研究

～ 震災復興計画とコンパクトシティについて ～

2014年3月

一般社団法人 都市計画コンサルタント協会

はじめに

本報告書は一般社団法人都市計画コンサルタント協会が、東日本大震災の発生を受けて設置した「震災復興まちづくりのあり方に関する調査・研究会Aグループ」による2013年度の検討成果を取りまとめたものである。

同グループでは2011年度から2012年度にかけて、「震災復興計画とコンパクトシティ」をテーマに岩手、宮城両県の被災自治体における復興計画(平成23年7月～11月時点のもの)の内容を概括し、高台移転等を伴う市街地整備計画の実態と課題を整理した。各自治体は復興計画においていずれもコンパクトシティを目指し、集落やコミュニティの維持、再生に力を注ごうとしている。しかしながら、とりわけ沿岸地域の急峻な地形は市街地の高台への分散立地を余儀なくさせ、増加する高齢者に対して移動の制約を高めるなど、住民の健全な生活の維持と持続可能な市街地形成を難しいものに行っていることがわかった。

2013年度の研究では、引き続きコンパクトシティを基本テーマに置きつつ、復興まちづくりに関わる具体的な問題に焦点を絞って取り組むこととした。

まず前段において、ヨーロッパやアメリカにおいて先導されたコンパクトシティの基礎概念を整理した。そもそもコンパクトシティは、単純に市街地の集約化を志向するものではなく、都市の成熟化、ライフスタイルの多様化、都市内ネットワークの強化等への対応を基本とするものであることを確認した。その内容は「東北発コンパクトシティ」というガイドラインのもとに東北の諸都市が取り組んでいる都市政策に通じている。

このことを踏まえ、震災でコンパクトシティの基盤となる集落やコミュニティの分散化・弱体化等が各地で一気に進んだことに着目した。応急的な対応が求められた仮設住宅におけるコミュニティの維持・形成問題、及び新たなコミュニティを安定させ持続可能なものとしていくために必須となる地域公共交通が抱える問題に焦点を当てて検討をすすめ、今後の取り組みの方向を提示した。

本研究が着目したコミュニティや地域公共交通の問題は、被災都市を再生していくための基礎的かつ重要な政策課題であるが、容易に解決されるものではない。さまざまな知見を集め、試行を重ねていく必要がある。加えて中心市街地の再生や地元の産業復興等、コンパクトシティを成立させるための基盤条件に関しては、まだ整備の目処すら立っていない自治体が多いのも事実である。これらについては時機を見て、あらためて整理、検討を行いたいと考えているが、まずは本成果が復興まちづくりの一助となることを願うものである。さらに他の地域でコンパクトシティを志向したまちづくりが検討される場合に何らかの参考になれば幸いである。

終わりに、本研究活動に対して的確な助言・指導を賜った関係各位に心より感謝申し上げる次第である。

2014年3月

一般社団法人都市計画コンサルタント協会 東日本大震災復興特別委員会
震災復興まちづくりのあり方に関する調査・研究会Aグループ

「震災復興まちづくりのあり方に関する調査・研究会 Aグループ」
メンバー表

阿部 賢一	(株)オオバ 営業本部 顧問
西郷 裕之	(株)市浦ハウジング&プランニング 常務取締役 都市計画・設計部門長
湯浅 敦司	(株)オオバ 環境計画部 計画・デザイン課長
日向野 茂	(株)国際開発コンサルタンツ 東京支店 まちづくりグループ 都市交通チーム チームリーダー
立山 善宏	昭和(株) 開発本部 企画室長
高瀬 太郎	(株)福山コンサルタント 東日本事業部 交通計画グループ課長補佐
高森 秀司	八千代エンジニアリング(株) 総合事業本部 社会計画部 技術第4課主幹
河田 義雄	国際航業(株) 東日本事業本部 第一技術部 都市計画担当部長
児玉 滋彦	国際航業(株) 東日本事業本部 第一技術部 まちづくり1グループ主任技師
佐藤 洋一	(株)エルム都市計画設計室 代表取締役

研究会検討経過

2013年

- ① 4/26(金) 18:00～20:00 会場：(株)オオバ会議室
内容：2012年度作業成果の取りまとめ方について検討
- ② 5/16(木) 16:00～18:00 会場：協会会議室
内容：2012年度の作業成果報告をもとに
南三陸町、石巻市、陸前高田市の復興計画の詳細調査結果について議論
復興に向けたコミュニティの維持・育成上の課題を踏まえた提言内容を検討
上記3市町における地域公共交通整備の課題・方向性について検討
- ③ 7/23(火) 16:00～18:00 会場：(株)オオバ
内容：2013年度活動計画案の検討
復興計画レビューと地域コミュニティ・交通の二つの分科会活動も並行して実施
- ④ 8/29(木) 10:00～11:30 会場：協会会議室
内容：2013年度作業計画について合意し、あわせて役割分担を確認
ポイントとして、コンパクトシティ推進上の障害に着目して復興計画の課題を整理すること
地域公共交通の現実的なあり方について地元市町と意見交換を試みる
- ⑤ 10/4(金) 18:30～20:00 会場：(株)福山コンサルタント
内容：南三陸町の復興に向けた詳細な動向・課題の分析
- ⑥ 10/23(水) 10:00～12:00 会場：協会会議室
内容：離半島部の検討対象として雄勝地区を追加
南三陸町をモデルに仮設住宅や防集・災害公営移転に関わる課題を分析
- ⑦ 11/13(水) 10:00～12:00 会場：(株)オオバ
内容：南三陸町における集落・コミュニティの状況整理
同町における仮設住宅、防集、災害公営住宅の立地に関わる問題の検討
被災地における公共交通の役割・可能性に関する検討
- ⑧ 12/3(火) 10:00～12:00 会場：協会会議室
内容：報告書の構成検討
コンパクトシティの理念・取り組み状況の検討
復興計画のレビュー（全体概要とモデル自治体の状況）
集落・コミュニティに関わる基本課題の整理

2014年

- ⑨ 1/14(火) 16:00～17:30 会場：(株)福山コンサルタント
内容：報告書の構成・フォーマット等の検討
震災後の集落・コミュニティの変遷に伴う課題について検討
仮設住宅地及び防集・災害公営等の新設住宅地が抱える課題の検討
- ⑩ 1/28(火) 10:00～12:00 会場：協会会議室
内容：報告書案の検討
- ⑪ 2/27(木) 10:00～12:00 会場：協会会議室
内容：報告書案のとりまとめ

目 次

第1章 コンパクトシティの理念・まちづくりの目標・方針	1
1. 欧米におけるコンパクトシティの理念と取り組み	1
2. コンパクトシティの定義例	4
3. わが国におけるコンパクトシティ政策の動向	5
4. 東北地方におけるコンパクトシティ形成に向けたまちづくりの方針	6
第2章 復興計画のレビュー	9
1. 復興計画の全体概要	9
2. モデル自治体の状況とコンパクトシティ実現への課題の整理	15
第3章 コンパクトシティの基盤となる集落・コミュニティの課題	33
1. 復興まちづくりにおいてコミュニティ形成上配慮すべき課題	33
2. 被災集落・コミュニティの変遷に伴う課題	35
第4章 コンパクトシティを支える地域公共交通の役割と可能性	45
1. 被災地における地域公共交通の実態と課題	45
2. 官民連携による地域公共交通導入方策の可能性検討	49
3. 地域公共交通導入の今後の課題	57
第5章 まとめ	59
<参考資料>	67
1. 被災地における復興計画の例	69
(1) 宮城県内の市町村の復興計画	69
(2) 岩手県内の市町村の復興計画	87
(参考図) ①復興計画検討段階における構想図	96
②モデル自治体(地区)構想図	111
2. 仮設住宅に見られる課題	121
(1) 仮設住宅の入居とコミュニティの課題	121
(2) コミュニティの形成に向けた課題と取り組み事例	128
3. 防集、災害公営等の新設住宅地が抱える課題	134
(1) 新設住宅の供給状況と危惧される課題	134
(2) 人口減少・少子高齢化にかかる課題	136